

(令和元年度単年度経営計画)

(公財)京都市国際交流協会		令和元年度経営計画 兼 経営努力結果	
基本事項			
所管局課	総合企画局国際化推進室	本市出えん金	100,000 千円
基本財産/資本金	100,000 千円	本市出えん率	100.0 %
「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」			
方向性	存続	目標年度	-
「今後の方向性」に向けた基本的方針			
業務面	京都市国際化推進プランに即した事業促進を進めることを基本とし、平成21年の協会設立20周年時に策定した「20歳の誓い・10年プラン」に明記されている「誰もが社会の一員として、自分の意見や想いを自由に伝えあう事ができる社会」「誰もが世界の人とのつながりを実感できる社会」を理想の社会として、その社会の構築のための事業を実施する。 今後、東京オリンピック・パラリンピックの開催、外国人労働力の積極的な受入れを契機に在留外国人が増加することが見込まれ、これまで以上に外国文化に関係するグループ活動やボランティア活動といった市民活動が盛んになることが予想される。国際都市京都の国際交流拠点として、地域の住民が参加しやすく、特色を発揮できる環境づくりに取り組んでいく。 外国人観光客の増加に伴い、国際観光都市として相応しい対応ができるグローバル人材育成のため、日本人学生と外国人留学生との交流機会を深める取組を進める。		
財務面	協会の活動を支える財源の安定的確保は重要な課題であるため、協会収入の多くを占める指定管理料だけではなく、財源強化に向け、職員一人一人が当事者意識と経営感覚を持ってコスト意識の向上や補助金、寄付金の獲得に努める。		
組織面	協会設立30周年を控え、協会運営の中核を担える人材を育成するため、職員の意識及び能力の向上を図る。		
その他	特になし		
当年度の取組目標に対する意見			
所管局	令和元年度は交流ロビーの改修、キッズスペース、多目的スペースの新設を行うため、工事による会館利用制限が伴うことから、入館者数、イベント参加者数への影響が予想されるが、第4期の指定管理者募集時に提案があった「学会・研究会誘致に向けた情報提供資料のパッケージ化」の早期実施や、開館30周年という機会をとらえ、関連イベントを開催するなどし、利用客の増加に努めてもらいたい。 財務面では、例年赤字予算組みが続いているため、既存事業の見直しをする等して、健全な業務の遂行に向け、調整を行っていただきたい。		
当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)			
団体			
所管局			

(公財)京都市国際交流協会	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	-----------------------

(1)業務に関する取組

目標1「国際交流会館利用者の拡大」

中期経営計画 における取組	国際交流会館の魅力向上のために、ムスリムなどの方を対象とした礼拝室の新設や利用者が集うロビー部分の改修など、京都市と連携し会館の中期修繕計画を通じて利用者サービスの充実を図り、新たな利用者の拡大を目指す。
当年度目標	今年度はキッズスペースや多目的スペースの新設による工事の影響により利用者の減少が予想されるが、開館30周年イベント等のPRを行い、利用者の増加にも力を入れる。 新設するキッズスペースについては、子育て支援をしている国際交流団体に向けてPRを行い、新たな利用者の開拓を行う。 また、観光MICE推進室や平成30年度から入ったレストラン運営事業者と協力しながら、岡崎地域の活性化を進めつつ、会館の利用者の増加を図る。
当年度結果 (※)	

指標1	入館者数の増加 (単位：人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	269,000		288,500		288,500		291,400	
実績	見込	実績	目標	見込	目標	実績(※)	目標	実績
	270,000	274,962	288,500	273,000	278,500		-	

指標2	セミナーイベントへの参加者数 (単位：人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	33,973		89,000		90,000		91,000	
実績	見込	実績	目標	見込	目標	実績(※)	目標	実績
	88,000	115,272	89,000	105,000	105,000		-	

目標2「京都の国際交流拠点としての取組」

中期経営計画 における取組	京都市における国際交流拠点として、姉妹都市関連事業を行い、世界歴史都市連盟の取組と共に市民の認知度を高める。また、地域国際化協会としての取組を進める。
当年度目標	姉妹都市のPRについては、昨年度kokokaオープンデイにおいて、パリ60周年関連のブースを設置したように、ボストン60周年に関係するブースを設置し、市民への認知度を高める。 世界歴史都市連盟のPRについては、加盟国を紹介する絵本展等の開催を引き続き行う。 地域国際化協会として、外国人を対象とした防災支援システムを災害発生時に有機的に機能させるため、近畿内の国際化協会と連携して「防災研究会」等を開催する。
当年度結果 (※)	

(令和元年度単年度経営計画)

(公財)京都市国際交流協会	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	-----------------------

指標1	姉妹都市関連事業や世界歴史都市連盟のPR活動の実施回数 (単位：回数)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	3		4		5		6	
実績	見込	実績	目標	見込	目標	実績(※)	目標	実績
	3	3	4	6	5		-	

指標2	近畿地域国際化協会との「防災研究会」等の開催件数 (単位：件数)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	4		4		5		6	
実績	見込	実績	目標	見込	目標	実績(※)	目標	実績
	4	4	4	4	5		-	

目標3「国際交流や多文化共生に携わる市民や民間団体の育成・支援」	
中期経営計画における取組	市民や民間団体が協会の事業に関わることにより、京都の国際化や多文化共生社会について考える契機となり、誰もが住みやすい地域社会を作っていくため、担い手の支援・育成を行い、地域国際化協会としての役割を果たす。
当年度目標	ボランティア参加のモチベーションを高めつつ、既存イベントの内容の更なる充実を図るため、異なるボランティア職種間の意見交換を行う「kokokaボランティア人材育成事業」を継続して実施する。 また、企業とのコラボレーション事業については、食品を扱うイベントの許認可条件が厳しくなったことで、継続してきたイベントの実施が難しくなっているが、新規開拓を行い件数を増やす。
当年度結果(※)	

指標1	登録ボランティア主催イベント開催回数 (単位：回数)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	4,000		2,810		2,820		2,830	
実績	見込	実績	目標	見込	目標	実績(※)	目標	実績
	2,800	2,868	2,810	2,850	2,860		-	

指標2	企業等とのコラボレーション事業開催件数 (単位：件数)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	11		12		13		14	
実績	見込	実績	目標	見込	目標	実績(※)	目標	実績
	11	11	12	9	10		-	

(令和元年度単年度経営計画)

(公財)京都市国際交流協会	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	-----------------------

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考欄
	予算	見込	予算	実績(※)	予算	実績	
経常収益	286, 284	280, 000	302, 515				
経常費用	312, 753	295, 000	323, 296				
当期経常増減額	△ 26, 469	△ 15, 000	△ 20, 781				
当期正味財産増減額	△ 26, 469	△ 15, 000	△ 20, 781				
資産合計	－	－	－				
負債合計	－	－	－				
正味財産	－	－	－				
うち累積損益額	－	－	－				

目標1「補助金の増収」

中期経営計画 における取組	協会の自主事業実施のため、補助金収入の増加の努力を続ける。
当年度目標	自治体国際化協会や日本万国博覧会記念基金などの補助金を申請し収入増加のための努力を続ける。
当年度結果 (※)	

指標	補助金 (単位:千円)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	21,000		16,500		17,000		17,500	
実績	見込	実績	目標	見込	目標	実績(※)	目標	実績
	16,000	18,795	16,500	18,875	18,000		-	

(公財)京都市国際交流協会	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	-----------------------

目標2「寄付金の増収」

中期経営計画 における取組	寄付者が寄付をしやすい環境づくりを検討し、各事業及び協会への寄付の受け入れ範囲を拡大させ増収を図る。
当年度目標	寄付金のクレジット決済ができることや税額控除対象団体であることをWebでPRし、改めて増収につながるように努める。新たに認定を受けた市民税控除団体であることもPRし更なる寄付につなげる。オープンデイ等大きなイベントでの寄付の呼びかけや寄付月間等を実施し寄付対象者を広げるためのキャンペーンを行う。
当年度結果 (※)	

指標	寄付金の増収 (単位：千円)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	2,700		1,300		1,400		1,500	
実績	見込	実績	目標	見込	目標	実績(※)	目標	実績
	1,200	1,261	1,300	1,443	1,450		-	

(公財)京都市国際交流協会	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	-----------------------

(3)組織に関する取組

目標1「職員の能力向上」

中期経営計画 における取組	限られた人数による効率的な運営を行うために、有料無料を問わず企画を立案する能力やコミュニケーション能力並びにマネジメント能力の向上等を目的に研修に参加し、職員の能力向上を図る。
当年度目標	新たに採用した職員に対し、外郭団体職員としての能力向上のために、京都市が開催する職員研修や、京都岡崎魅力づくり協議会の研修会にも積極的に参加する。 限られた人数による効率的な運営を目指して、有料無料を問わず職員の研修派遣回数を増やし、職員の能力向上を図る。
当年度結果 (※)	

指標	職員研修派遣回数 (単位：回数)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	30		30		31		32	
実績	見込	実績	目標	見込	目標(※)	実績(※)	目標	実績
	29	29	30	29	31		-	

目標2「職員の意識向上」

中期経営計画 における取組	社会状況の変化や利用者のニーズに応えられるよう、運営に関わる勉強会を実施する。
当年度目標	職員間で、コンプライアンス等の勉強会を実施する。
当年度結果 (※)	

指標	勉強会の実施回数 (単位：回数)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	0		2		3		4	
実績	見込	実績	目標	見込	目標	実績(※)	目標	実績
	0	0	2	2	3		-	